

まちの新しい時代に向けて

新しい時代に向けてまちづくりを進める上で必要なのは「人」です。人口減少に真っ向から立ち向かうため、町民の皆さんとの対話を大切にし、町民目線で町政運営に取り組んでいきます。町民の皆さんが飯南町で暮らすことを幸せに思えるよう、そして将来に夢と希望がもてる「笑顔あふれるまち飯南町」を実現していきます。

飯南町長 塚原隆昭

■詳しくはこちらをご覧ください
令和3年第2回飯南町議会定例議会町長所信表明及び提案理由説明要旨



主要施策

自治・協働

【協働のまちづくりの推進】

集落実態調査により「見える化」された人口減少や高齢化などの課題解決や、総合振興計画に掲げるU・I・ターン移住者数の目標の達成に向けた取り組みを支援し、集落の維持・活性化を図ります。

【特定地域づくり事業協同組合の活用】

町内事業所の人材不足や本町の人口減少の解消の一助となる「特定地域づくり事業協同組合」の取り組みを支援し、制度を活用した人材確保に努めます。（6～7Pに関連記事）

【マイナンバーカードの普及促進】

町内の事業所や地域サロンに出向いてカードの申請支援を行うなど、カードの普及促進を目指します。健康保険証利用登録者への「い・く・に・やん」地域振興クーポン（1人当たり千円）の贈呈は、本年9月末まで延長します。

教育・文化・子育て

【未来を創る人づくりの推進】

飯南町教育大綱（令和2年度改定）の「ふるさと飯南の学びを原点到、一人一人が輝く人づくり」を基本理念に、町の未来を創る人づくりを進めます。また、保育所からの学びの記録簿「キャリア・パスポート」により、子どもたちの「主体性」「課題発見力」「計画力」「創造力」「巻き込む力」「実行力」「発信力」を育みます。

【歴史文化の伝承】

大しめ縄などの伝統技術、貴重な文化財や歴史的な資源などを保存管理、活用し、伝承していきます。また町立図書館で、貴重な郷土資料を収集し、飯南町の歴史・文化を発信します。

【産休明け保育の実施】

産休明け保育の受け入れ対象年齢を4月から生後6カ月引き下げました（現在桜ヶ台保育所のみ）。今後は、受け入れ人数の増加に対応できるように保育体制を整えます。

保健・福祉

【健康づくりの推進】

より多くの皆さんが特定健診を受診できるように、国保加入者で40歳から74歳までの人の特定健診の利用負担を無料にします。

【医師の体制】

飯南病院と診療所は、島根県や島根大学、非常勤の先生方の協力により、現在の医療体制を維持します。また、初期臨床研修医と総合診療専門医を目指す医師の受け入れを行っています。

生活・環境

【定住の推進】

オンラインでの定住相談や情報発信を行い、きめ細かな対応により定住人口の増加へつなげていきます。

【防災意識の向上】

6月の防災訓練では、「感染症予防対策」や「避難場所・避難所の見直し」を踏まえた訓練を予定しています。昨年度指定を受けたレッドゾーン等を反映したハザードマップも配布します。

歴史・文化を感じるまちづくり

有形無形文化財の整理・保存・展示の仕組みづくり、大規模集会所での芸術文化に触れる機会の創出

子どもの声が聞こえるまちづくり（少子化対策）

子育て環境や制度のPR、公園整備、飯南高校の魅力化、ふるさと教育・ICT教育の推進

定住を進めるまちづくり

魅力ある住まいの整備、仕事の確保・職業の創出、移住後の支援、在住者への支援

産業が元気なまちづくり

生業となる農業、飯南米のブランド化、水田園芸の推進、農作業の省力化、「特定地域づくり事業協同組合」制度などを活用した人材確保・育成、事業承継

重点的に取り組む5つの政策

安心・安全なまちづくり

地域医療福祉の充実・地域包括医療ケアの推進、介護福祉施設の整備方針樹立、新型コロナウイルス感染症対策、自然災害対策

産業

【農業の振興】

水田農業では、「飯南米」を有利販売するためにJ・Aしまねと連携し、品質向上と「日本一の大しめ縄の里飯南町」を冠とした知名度向上、情報発信をします。

園芸振興では、白ネギ、サツマイモ、ショウガを新たに町の推奨品目とし、水田園芸への転換により、生産者の所得向上を目指します。また、新規就農者の確保に加え、経営面・技術面・生活面の指導や出荷輸送への支援を行います。

【林業の振興】

森林整備計画などに基づく各種事業に取り組むと共に、森林環境譲与税を活用し、これまで整備の行き届かなかった山林の経営管理に取り組めます。また、森林資源を活用した林業・木材産業の活性化に取り組めます。

【商工業の振興】

引き続き町内事業所の「事業承継」や「創業支援事業」に取り組み、産業支援センターなどと連携しながら若者の起業・就業を推進します。

